Creative Enzymes®

仔牛由来ターミナルトランスフェラーゼ、組換え

Cat. No. NATE-1926

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ターミナル転移酵素（TdT）は、DNA分子の3' ヒドロキシル末端にデオキシヌクレオチドを追加する触媒であるテンプレート非依存性ポリメラーゼです。突出した、凹んだ、または平坦な末端の二本鎖または一本鎖DNA分子がTdTの基質として機能します。この58.3 kDaの酵素は、5'または3'エキソヌクレアーゼ活性を持っていません。反□にCo2+を追加することで、テーリングがより効率的になります。
別名	DNAヌクレオチジル転移酵素; ターミナルデオキシリボヌクレオチジル転移酵素; ターミナル添加酵素; アダース; デオキシヌクレオチジルターミナル転移酵素; デオキシリボ核酸ヌクレオチジル転移酵素; デオキシリボ核酸ヌクレオチジル転移酵素; ターミナルデオキシヌクレオチド転移酵素; TdT; EC 2.7.7.31; 9027-67-2

製品情報

種	子牛の胸腺
由来	E. coli
EC番号	EC 2.7.7.31
CAS登□番号	9027-67-2
分子量	58000 daltons
活性	42,000 ユニット/mg
濃度	20,000 ユニット/ml
単位定義	1ユニットは、d(A)18をプライマーとして使用し、37°Cで1時間に50µlの総反□体積で酸不溶性物質に1 nmolのdTTPを取り込む反□を触媒する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで